

かけはし

2019
No. 103

Contents

特集 第35回 定時総会開催
新会長就任のごあいさつ 2~3

平成30年度貸借対照表 3

平成30年度正味財産増減計算書 3

事務局からのお知らせ 4



発行所／(一社)兵庫県老人福祉事業協会 神戸市中央区坂口通2丁目1-1 TEL:078(291)6822 FAX:078(291)6811

発行責任者／伊富貴 幸廣 ●発行日／令和元年8月23日 第103号

令和1~2年度 一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会 理事・顧問・運営委員名簿

(任期:令和元年6月24日~令和3年6月定時総会)

役職	氏名	現職名
会長	伊富貴幸廣	養護老人ホーム由良荘 施設長
副会長	谷 亨二	特別養護老人ホーム妙見荘 施設長
	北嶋 勇志	特別養護老人ホームセントボーリア愛の郷 施設長
	川島 武志	特別養護老人ホーム瀬戸内ホーム 施設長
	上野 仁久	養護老人ホーム楽久園施設長
理事	三木 啓康	特別養護老人ホーム山彦ホーム施設長
	澤村安由里	特別養護老人ホーム山路園施設長
	細谷 琢郎	養護老人ホーム青葉荘 施設長
	小椎尾竹信	ケアハウス保月の郷施設長
	新井 正	老人デイサービスセンターケアセンター太陽の家施設長
	藤澤 徹	特別養護老人ホームあいな清和苑施設長
	吉本 知之	兵庫県社会福祉協議会 会長
	多田 徹	弁護士
	前原 啓二	公認会計士
	関川 芳孝	大阪府立大学大学院 教授
	谷村 誠	兵庫県社会福祉法人経営者協議会 会長
	大谷 八与	特別養護老人ホーム若狭野の里常務理事 (監事)
監事	福田 好宏	兵庫県社会福祉協議会副会長兼常務理事 (監事)
	西井秀剛	養護老人ホーム鶴林園 施設長
顧問	花房 幸一	特別養護老人ホーム桜谷荘 統括施設長
	上田 芳史	特別養護老人ホームまどか園 統括長
	石田 文徳	特別養護老人ホーム姫路・勝原ホーム 施設長
	赤松 勸誠	特別養護老人ホーム宝塚まどか園 施設長
運営委員	大林 克樹	特別養護老人ホーム浜の宮松竹園施設長
	田上 優佳	特別養護老人ホームいやさか苑施設長
	徳永 憲威	特別養護老人ホーム桑の実園 施設長
	藤森 博	特別養護老人ホームかるべの郷さざんか 施設長
	山下 和秀	特別養護老人ホーム和寿園施設長
	笠谷 亨代	地域密着型特別養護老人ホームほほえみ施設長
	貝川 光洋	養護老人ホーム白鷺園施設長
	山岡 誠吾	ケアハウスあけぼの苑施設長
	渡邊 拓郎	デイサービスセンターなごみの郷施設長
	森表 正裕	特別養護老人ホームまほろばの里施設長

令和元年度 サービス評価事業 実施施設一覧表

※印は再評価施設

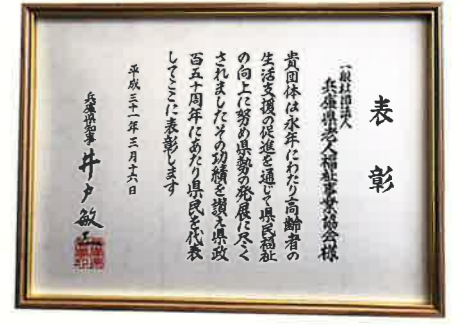
実施日	実施施設	ブロック
9月13日	千草たちばなプラス	淡 路
9月19日	あそか苑みずほ	阪 神
10月 8日	やすらぎの里ひだか	但 馬
10月18日	オーキッド	阪 神
10月21日	玄武会ヒルズ	西播磨
11月 5日	しのべの里	東播磨
11月15日	さくらの苑	但 馬
11月25日	アマリリス	阪 神
12月 6日	あおやま	姫 路
12月10日	泉の杜	姫 路
12月20日	※さんすい園	阪 神
1月10日	みずき	東播磨
1月14日	大津みやび野ホーム	姫 路
1月24日	※みどり園	東播磨
2月 7日	キャッシル真和	姫 路

編集後記

第35回総会を無事に終了し、伊富貴新会長のもと、各委員会・部会においても体制が整い動き始めました。気持ちも新たに様々な情報を会員の方々に発信できたらと思っています。

会員の皆様のご理解とご協力を賜り、充実した事業の推進にむけて、役員、事務局一同、邁進してまいりますので、よろしく願いいたします。

県政150周年記念知事表彰受賞!!



高齢者の生活支援の促進を通じて県民福祉の向上に努めたとして、井戸兵庫県知事より表彰をいただきました。

☆ご参加ください。(施設職員だけでなく広く県民の皆様にもご参加いただけます。)

介護の日イベント

日 時: 令和元年11月2日(土) 12:00~

場 所: ニチイ学館神戸ポートアイランドセンター
〒650-0047 神戸市中央区港島南町7-1-5

①終末期ケア普及フォーラム
講 演: 講師 医療法人社団裕和会理事長、長尾クリニック院長 長尾 和宏氏
「死の授業~誰にでもおとずれる最期(死)をどうむかえますか?~」

②介護技術コンテスト: 介護職員の皆さんが日頃の業務で身につけた介護技術を発表し、その技術の高さや専門性をご覧ください。

《行事予定》

【本会研修事業】

9月5日(木)・10月17日(木)
介護職員等終末期ケア対応向上研修会

10月31日(木) 職員研修(養護部会企画)

11月 8日(金) 職員研修(軽費・ケアハウス部会企画)

11月29日(金) 職員研修

1月28日(火)~29日(水)
近畿老人福祉施設協議会(兵庫大会)施設長研修会

靴下を寄贈いただきました

平成31年2月株式会社兵庫センイ・ソックスより当会に靴下の寄贈を賜りました。

各ブロック及び当会事務局より、会員事業所に配布させていただきました。



県老協加入施設数 R1. 8. 8現在

	特 養	養 護	軽 費	ケアハウス	デイサービス	計
阪 神	66	6	0	22	70	164
東播磨	56	6	1	20	67	150
姫 路	39	3	0	8	35	85
西播磨	30	6	0	3	39	78
但 馬	25	3	0	6	39	73
丹 波	11	4	0	3	14	32
淡 路	20	4	0	2	15	41
計	247	32	1	64	279	623

※ 賛助会員 1事業所(内訳:団体)

新会長就任のごあいさつ



一般社団法人兵庫県老人福祉事業協会
会長 伊富貴 幸廣

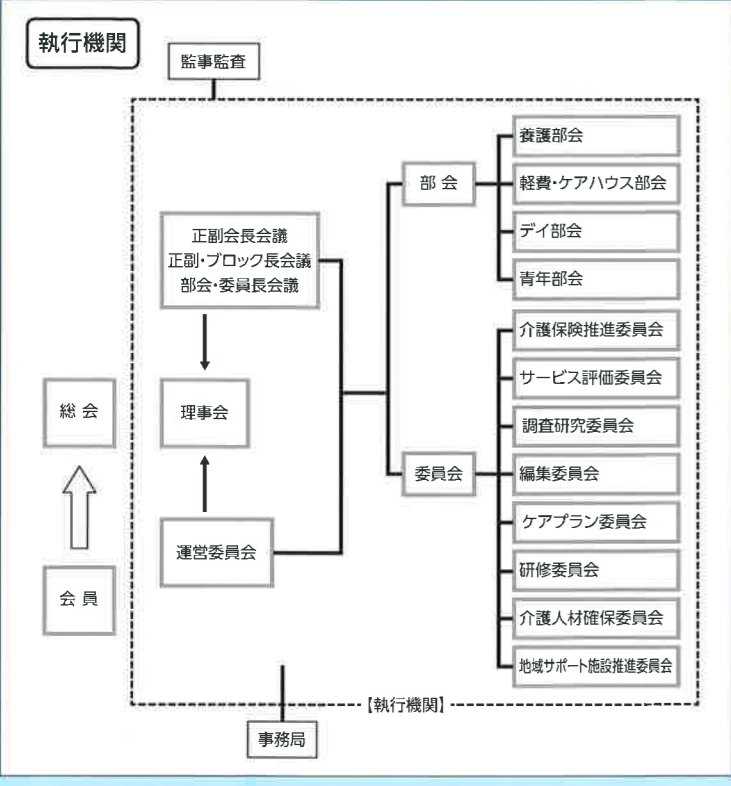
6月に石田文徳前会長の後を受けて兵庫県老人福祉事業協会会長に就任いたしました。
もとより微力ではございますが、会員の皆様がたのび協力を得て、介護を必要とされるご利用者やご家族に寄り添いながら、高齢者それぞれの健やかで尊厳ある暮らしを支えていく所存でございます。

2025年には本格的な高齢社会を迎え、これまで以上に個人と社会のつながりや絆が大切にされる時代になります。会員相互だけでなく、広く県民の皆様にも老人福祉や介護に関する情報を発信し、ともに考え、ともに行動することによって、兵庫の豊かな福祉の実現並びに介護の質の向上をめざしたいと思います。

長い歴史と輝かしい伝統をもつ兵庫県老人福祉事業協会の会長職を務めさせていただくことは私にとって大変光栄なことでありたい。その反面、特養の31.5%、デイサービスの31.2%が赤字という厳しい問題や経営の継続性が危ぶまれる恐れのある介護人材確保の問題など業界を取り巻く厳しい環境の中で舵取りを行うという責任の重さを痛感しております。

県老協の事業計画は前年度の3月総会において承認されており、役員変更があっても事業の継続性に大きな影響が出ることはなく、その点は安心です。そんな中で対応を急がれているのが、令和2年度の兵庫県予算編成に合わせた兵庫県の社会福祉政策への提言・要望の提出です。今からまとめていきますが、やはり人材確保対策が中心になるのではないかと考えます。また、10月から施行される介護報酬改定、中でも特定処遇改善加算への対応も検討したいと思っております。

組織の運営については、役員及び各委員を中心に会員の皆様のご意見もお聞きしながら取り組んでいきたいと考えています。
最後に、皆様のご支援ご協力をお願いしましてご挨拶とさせていただきます。



第35回 一般社団法人 兵庫県老人福祉事業協会 定時総会開催



益目的支出計画実施報告書について報告した後、第1号議案「平成30年度計算書類承認の件」、第2号議案「理事選任の件」、第3号議案「監事選任の件」について承認を得ました。
また、表彰式を行い、10年勤

令和元年6月24日(月)神戸市中央区のメリケンパークオリエンタルホテルにおいて、正会員277人中、122人の出席、委任状提出126人を得て第35回定時総会が開催されました。

今年度は、午後2時より、石田会長の開会挨拶のあと、厚生労働省老健局総務課 上田真琴係長より「2019年度介護報酬改定について「介護人材の更なる処遇改善」について説明がありました。

その後、司会からの報告で、総会成立の定足数(過半数)以上の出席を得て成立していることが確認され、定款17条の規定により、会長石田文徳が議長となることにも、議事録署名名人2人を選出し、議事に入りました。

先ず、報告事項として「平成30年度事業報告」、「公



継続表彰者(197名の代表に表彰状が贈呈されました。総会終了後懇親会が開催され、兵庫県知事 井戸敏三氏、県議会健康福祉常任委員会 伊藤委員長、兵庫県社会福祉協議会 吉本会長からご挨拶をいただくとともに、その他のご来賓の紹介、協賛企業展示などが行われ、㈱トヨタレンタリース兵庫から寄贈された自動車の抽選会では、兵庫県社会福祉協議会 吉本会長に抽選いただき、特別養護老人ホームりんどうの里が引き当てるなど、盛会のうち終了しました。



平成30年度貸借対照表

(平成31年3月31日現在) (単位:円)

【資産の部】	
科目	金額
流動資産	
現金預金	129,933,275
未収金	5,728,513
流動資産合計	135,661,788
固定資産	
特定資産	
財政基金積立預金	1,650,000
特定資産合計	1,650,000
その他固定資産	
什器備品	211,316
電話加入権	76,440
その他固定資産合計	287,756
固定資産合計	1,937,756
資産合計	137,599,544

【負債の部】	
科目	金額
流動負債	
未払金	10,593,483
預り金	125,601
流動負債合計	10,719,084
負債合計	10,719,084

【正味財産の部】	
科目	金額
一般正味財産	126,880,460
正味財産合計	126,880,460
負債及び正味財産合計	137,599,544

平成30年度正味財産増減計算書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日 (単位:円)

【Ⅰ 一般正味財産増減の部】		
経常増減の部		
科目	金額	内:公益目的支出計(実施報告分)
経常収益		
受取入会金	250,000	0
受取会費	45,637,924	0
事業収益	1,508,684	151,444
受取補助金等	38,061,828	1,499,000
受取寄付金	1,000,000	0
雑収益	469,611	0
経常収益計	86,928,047	1,650,444
経常費用		
事業費	64,252,898	7,497,655
管理費	9,436,583	0
経常費用計	73,689,481	7,497,655
当期経常増減額	13,238,566	△5,847,211
経常外増減の部		
経常外収益		
経常外収益計	0	0
経常外費用		
経常外費用計	0	0
当期経常外増減額	0	0
当期一般正味財産増減額	13,238,566	△5,847,211
一般正味財産期首残高	113,641,894	24,337,784
一般正味財産期末残高	126,880,460	18,490,573
【Ⅱ 指定正味財産増減の部】		
当期指定正味財産増減額	0	0
指定正味財産期首残高	0	0
指定正味財産期末残高	0	0
【Ⅲ 正味財産期末残高】		
正味財産期末残高	126,880,460	18,490,573